

PORT INC.

人材領域におけるロールアップ型資本業務提携 に関する補足説明資料

ポート株式会社 証券コード：7047

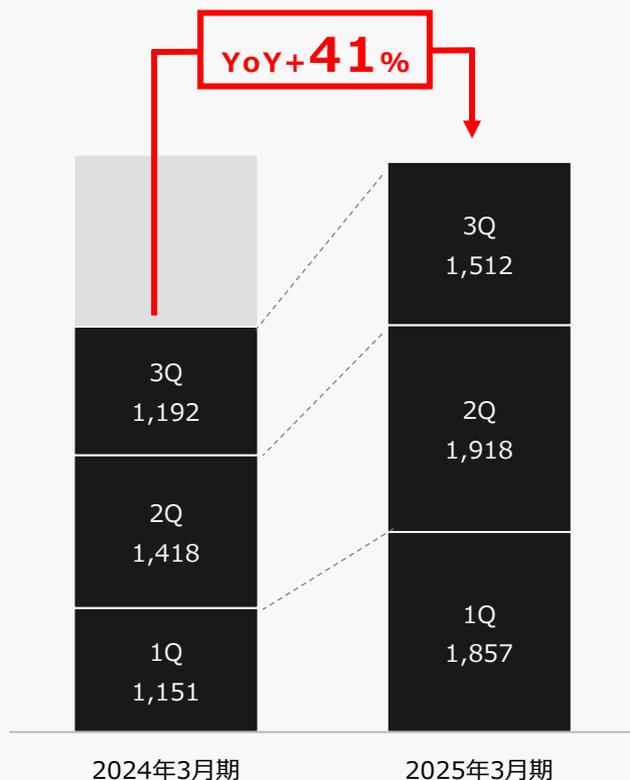
2025.2.25

人材領域 業績推移

人材採用競争の激化や、就職活動が早期化・通年化されていく中で当社の人材紹介・アライアンスサービスともにニーズが高まり、業績は大きく成長。

売上収益

単位：(百万円)



良好な市場環境を背景に
当社サービスのプレゼンスは向上

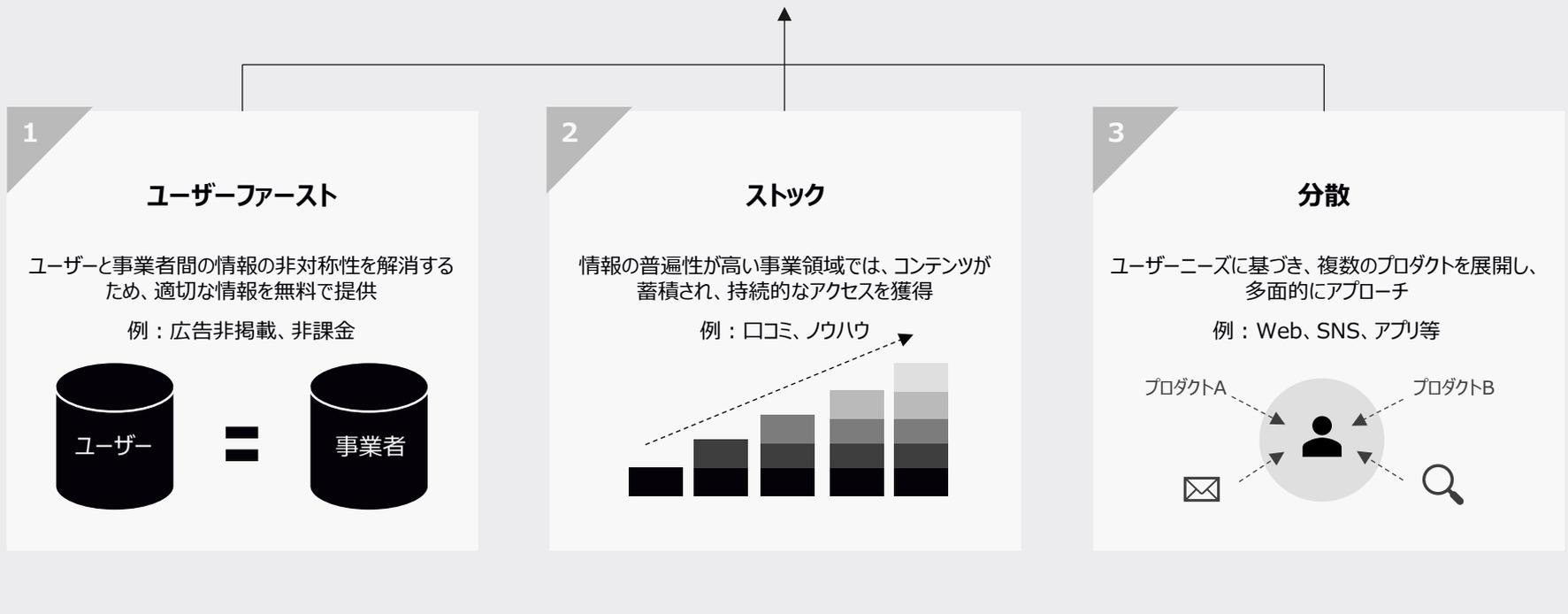


成約件数・成約単価ともに
上昇継続

WEBマーケティングによる圧倒的な集客力

人材領域における人材紹介、アライアンスサービスを提供する上で前提となる、求職者の集客力に強み。戦略的なWEBマーケティングによる圧倒的な求職者の集客を可能とする。

WEBマーケティングによる大量の見込み客の集客力



人材領域では自社の経営資源を活用した成長（オーガニック成長）をメインドライバーとしながら、M&Aや資本業務提携によるロールアップでの外部リソースも活用した成長（インオーガニック成長）の両輪で事業を推進。

オーガニック成長

積極的なプロダクト投資

選考対策プロダクト



就活ノウハウプロダクト



合同説明会等イベント検索プロダクト



就活ノウハウプロダクト



インオーガニック成長

当社がカバーできていないチャンネルを拡充

M&A

2024年4月から完全子会社化

口コミ掲載型の就活生同士のコミュニティサイト



資本業務提携

2024年2月から当社グループ参画

OB・OG訪問マッチングサービス

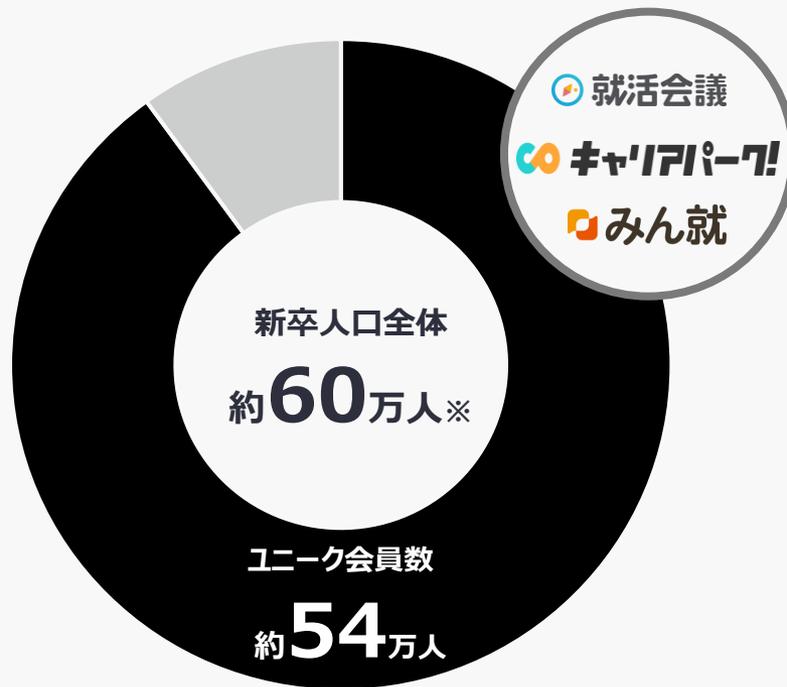


国内最大規模の新卒会員基盤

2024年のみん就M&A等のコーポレートアクションも寄与し、当社グループのプロダクト群のユニークユーザーベースで新卒人口カバー率では約9割に到達。

ユニーク会員数

(2024年12月末時点の2025年3月卒業予定の新卒会員数)



新卒ユーザー利用率

約90%

プロダクトラインナップのさらなる拡充

新卒採用支援市場における各チャンネルで国内最大規模のプロダクトを持つ企業と連携し、プロダクトラインナップを拡充し、圧倒的な会員基盤の構築を目指す。



国内最大規模の就活ノウハウや情報を発信する YouTubeチャンネル等を運営

- 就活ノウハウや情報を発信するYouTubeチャンネル「しゅんダイアリーチャンネル」を運営
- 2024年12月末時点で就活生を中心に登録者数22.6万人、月間平均100万回再生



国内最大規模の就職活動における 筆記試験対策アプリを開発、運営

- 就職・転職支援アプリの開発、提供（適性検査対策・時事問題対策・面接対策、等）
- 年間約40万ダウンロード

ユーザーファーストなプロダクト群を強化することで圧倒的な支持を獲得し、
グループ総会員数の更なる増加、参入障壁の構築を目指す

グループ総会員数の拡大

新たにYouTube等のSNS・アプリチャネルにおけるプロダクトが加わり、ユーザーファーストなプロダクト群が一層強化。網羅的なアプローチで、さらなる会員基盤の強化及び求職者と企業の情報の非対称性の解消を目指す。

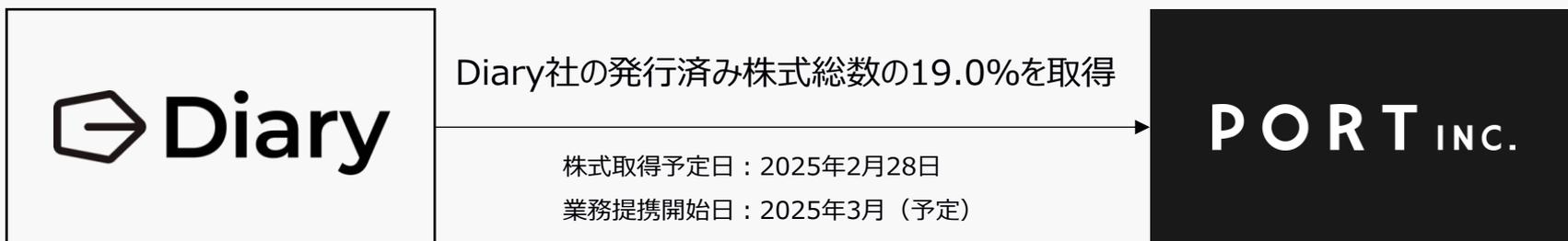
就職活動における意思決定プロセス



資本業務提携 スキーム概要 Diary社

当社が、第三者割当増資の引受及び株式譲渡により、Diary社発行済み株式総数の19.0%相当の普通株式を取得※。業務提携によって人材紹介の共同展開、SNSチャンネルからのユーザー集客を実施。

資本提携内容



業務提携内容

人材紹介事業の共同展開

- Diary社と共同で「しゅんダイアリーエージェント」（人材紹介事業）を展開。「しゅんダイアリーチャンネル」等で就活生を集客。
- 当社が人材紹介を行うことで、Diary社のプロダクトを利用するユーザーへの人材紹介サービスを提供。

SNS（YouTube等）の運営チャンネルからの集客

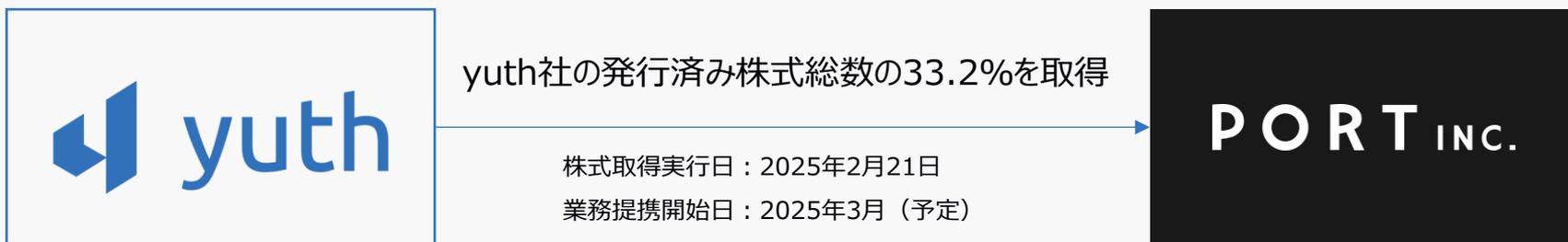
- Diary社が運営する「しゅんダイアリーチャンネル」において、定期的に当社グループサービスのブランディング強化を目的とした動画を制作、配信。
- 当社グループのプロダクト、サービスを紹介するPR枠を設定することで当社グループプロダクトの認知度向上と集客強化による総会員数の拡大に繋げる。

※ 取得金額は軽微。

資本業務提携 スキーム概要 youth社

当社が、第三者割当増資の引受及び株式譲渡より、youth社発行済み株式総数の33.2%相当の普通株式を取得※。業務提携によってユーザーの送客連携を実施。

資本提携内容



業務提携内容

ユーザーの送客連携

- youth社の運営する就活支援サービスの会員全てを同時登録により当社グループに送客し、当社の人材紹介、アライアンスのサービスを提供。

※ 取得金額は軽微。

APPENDIX

人材領域 市場環境

人材領域 市場環境

当社のメインターゲットは新卒採用支援サービス市場。新卒者が年数を経過するごとに徐々に若年層マーケットへ進出することで対象市場は拡大。

人材市場全体

求人広告市場※3+職業紹介市場※3+派遣市場※3
+庶務・人事人件費(人口×平均報酬/年)※4

約**10**兆円

人材採用支援市場全体

求人広告市場※3+職業紹介市場※3

約**1**兆円

既卒・第二新卒採用支援サービス市場※2

約**2,960**億円

新卒採用支援サービス市場※1

約**1,460**億円

2024年3月期
当社人材領域実績 約**53**億円

若年層採用
支援サービス市場

クロスセルによるターゲット年代の拡大

※1 株式会社矢野経済研究所「新卒採用支援サービス市場に関する調査(2024年)」(2024年4月26日発表)、2024年度予測値 サービス提供事業者売上高ベース

※2 求人広告市場+職業紹介市場の規模1兆円に厚生労働省労働力調査より15歳~34歳の転職者比率を乗じ、
https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2021/0805_9201.html より未経験比率を35%と仮定して当社にて算出。

※3 https://j-hr.or.jp/wp/wp-content/uploads/JHR_JHR_2030_report_20210125.pdf

※4 厚生労働省「労働力調査」/日本の統計「主要職種別平均年齢、勤続年数、実労働時間数と月間給与額」より当社推計

慢性的な人手不足が続く中、新卒採用の意欲は高まり、企業の人材採用競争の一層の激化や人件費の上昇によって、採用コストも増加傾向。その結果、採用市場全体の規模は拡大し、今後もこの傾向は継続見込み。

新卒採用支援サービスの市場規模推移※



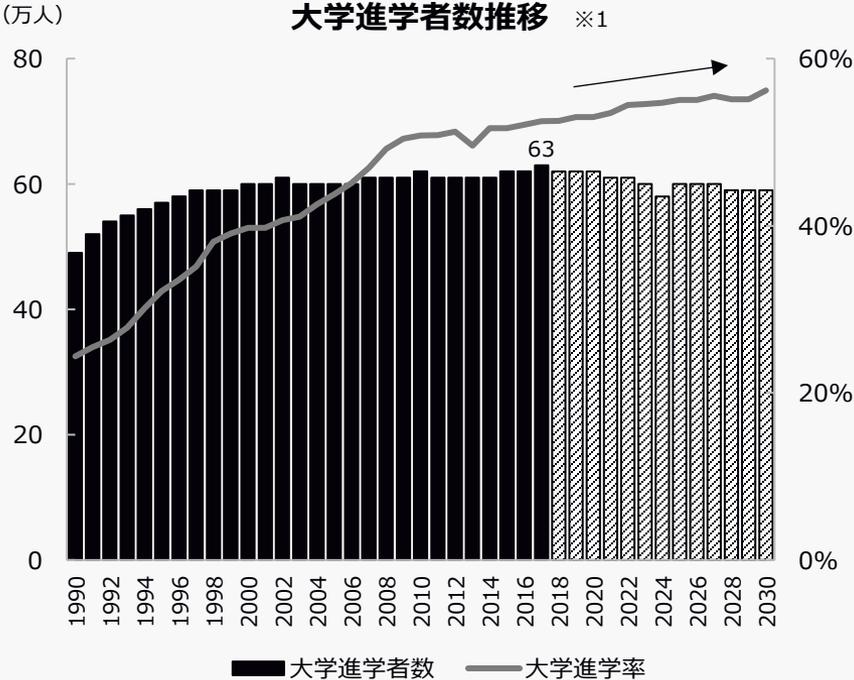
※ 株式会社矢野経済研究所「新卒採用支援サービス市場に関する調査（2024年）」（2024年4月26日発表）
Copyright © PORT INC. All Rights Reserved.

人材領域 市場環境（新卒採用支援市場）

ターゲット人口となる大学進学者数は、人口減少による影響を大学進学率の増加がカバーし、当面横ばいで推移する見通し。また、大卒求人倍率は企業の採用需要回復に伴いコロナ禍前の水準まで大きく回復。

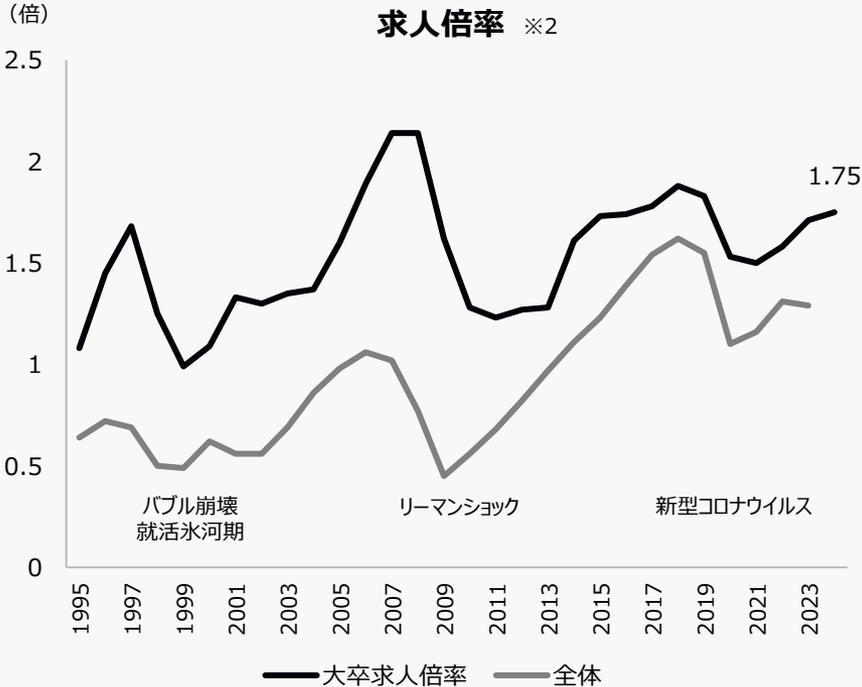
新卒人口は当面横ばいでの推移の見通し

若年層の人口減少による影響を大学進学率の増加がカバーしており、2030年頃までは横ばいから微減で推移すると予測されている。



大学求人倍率は上昇、景気変動による影響は比較的限定的

コロナからの経済回復後の大学求人倍率は採用意欲の回復に伴い上昇傾向。また、景気変動による大学求人倍率の変動は比較的限定的である。



※1 厚生労働省「大学進学者数等の将来推計について」、文部科学省「学校基本調査 高等教育機関卒業後の状況調査」
※2 リクルートワークス研究所「第41回ワークス大卒求人倍率調査（2025年卒）」2024年4月25日公表
Copyright © PORT INC. All Rights Reserved.

人材領域 市場環境（新卒採用支援市場）

人材採用市場は今後も継続的に激化していく見込みであり、採用単価の上昇は必然的であることから、当社の求人企業向け人材紹介、人材会社向けのアライアンス共に追い風。

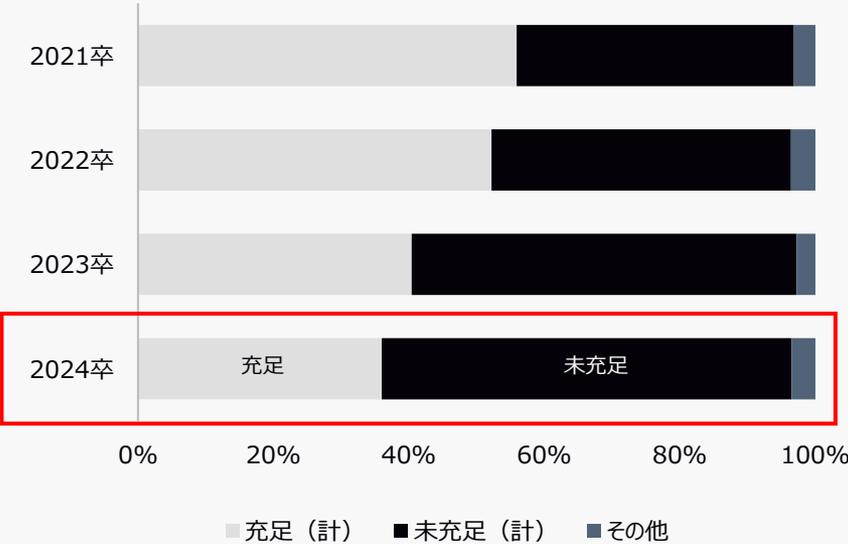
新卒採用における充足難易度は上昇

売り手市場の強まりにより学生の就職活動量は低下傾向、新卒採用での母集団形成、人材確保に苦戦する企業が増加。

新卒採用における採用単価の上昇

学生優位な売り手市場を背景とする新卒採用競争の激化等によって、新卒採用における採用単価は上昇が続く見込み。

新卒採用の採用計画数に対する充足状況※1



新卒採用競争の激化、新卒採用開始企業の増加

売り手市場による人材会社の求職者集客コスト上昇

採用競争力の強化を目指した人件費(初任給)の上昇



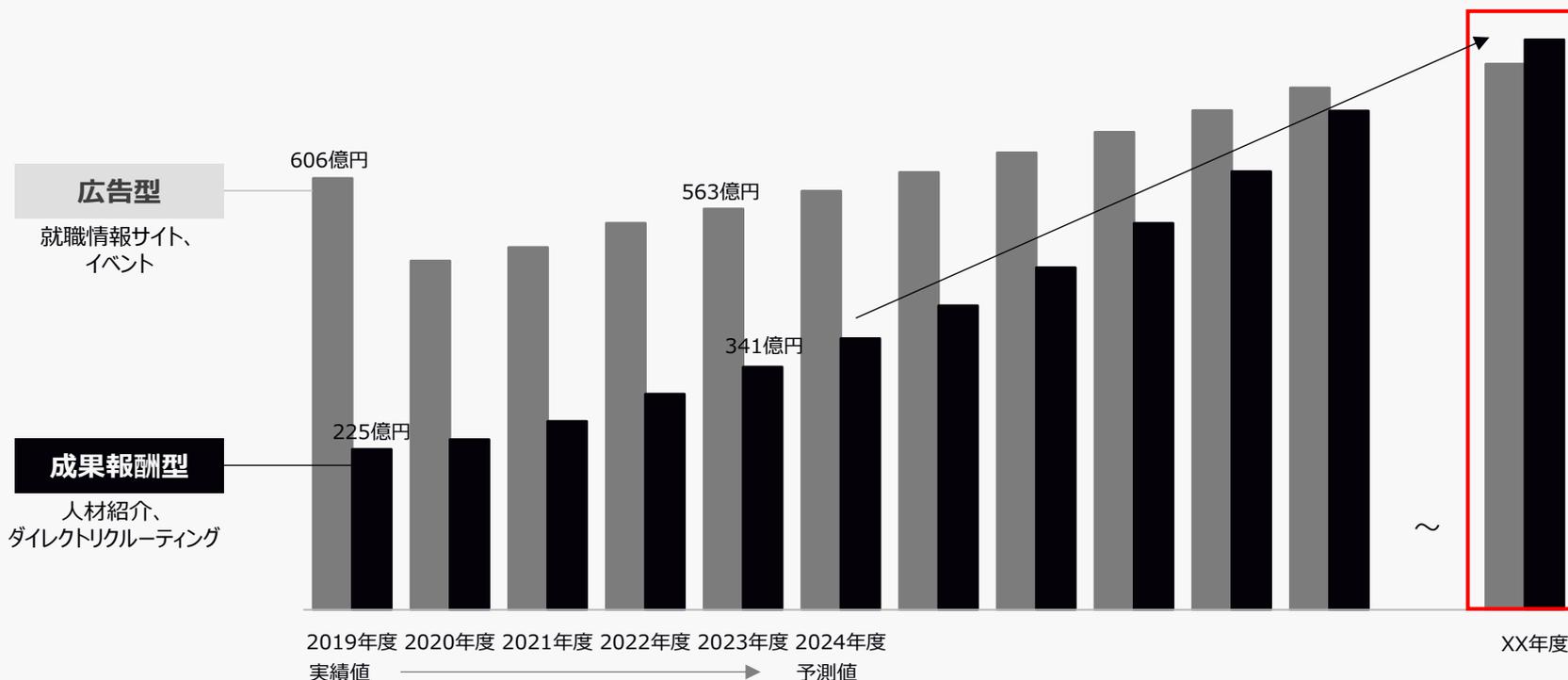
1人当たりの採用単価は今後も必然的に上昇する見込み

※1 リクルート 就職みらい研究所「就職白書2024」「就職白書2023」より作成。「充足 (計) 」は「計画よりかなり多い」「計画より若干多い」「計画通り」の合計、「未充足 (計) 」は「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」の合計、「その他」は「選考中につき未定」「採用数について計画を立てていない」「その他」の合計。

新卒採用支援市場において、費用の掛け捨てリスクなく効率的に採用ができる成果報酬型サービスへの需要が大きく増加する見込み。

各サービスにおける市場規模推移※

～成果報酬型中心の市場に転換～



※ 株式会社矢野経済研究所「新卒採用支援サービス市場に関する調査（2024年）」（2024年4月26日発表）を元に、当社独自で算出。
Copyright © PORT INC. All Rights Reserved.

人材領域 市場環境（若年層採用支援市場）

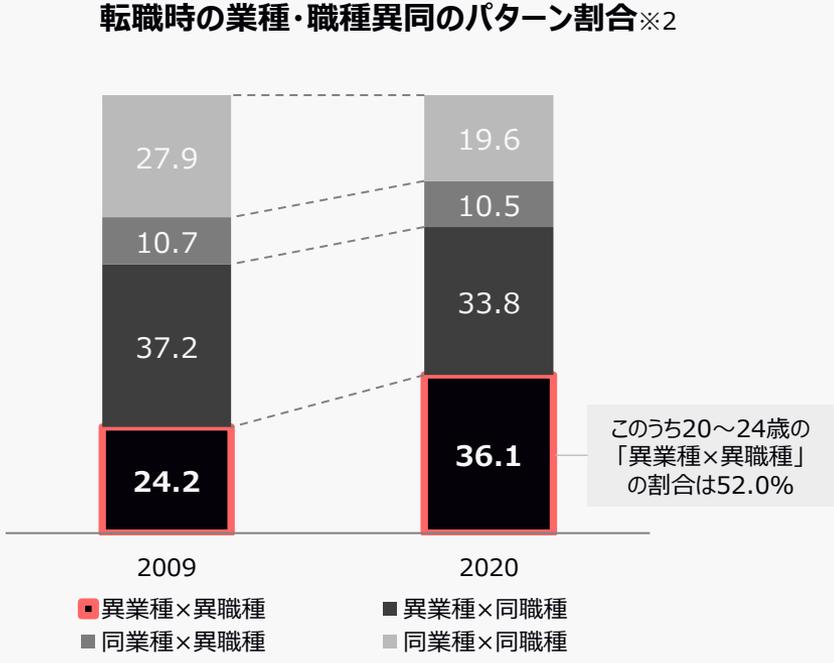
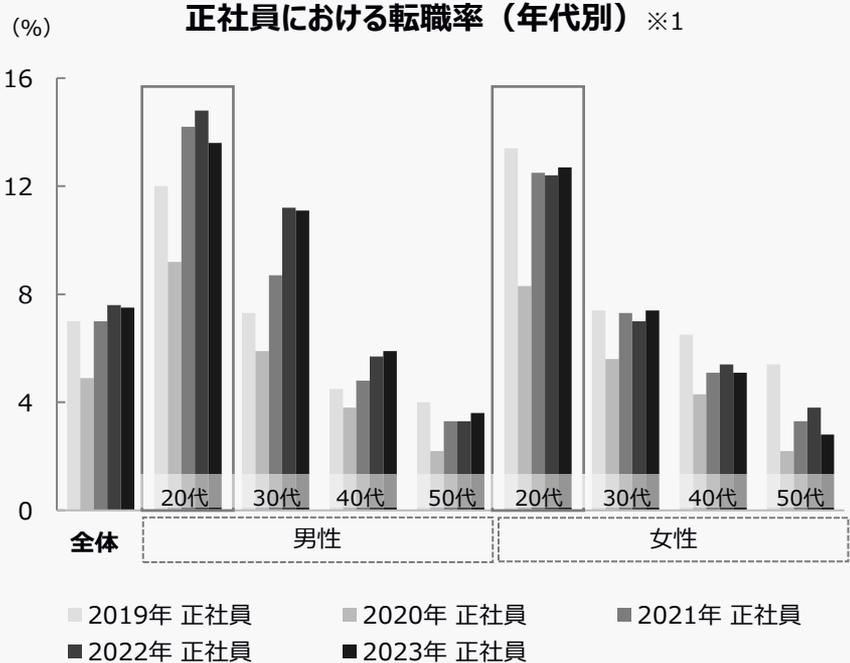
若年層の転職率は増加傾向にあり※1、企業の人手不足に伴い未経験の若年層人材の採用ニーズがさらに高まる見込み。

転職率は増加傾向、若年層が最も活発

2022年以降は企業の採用意欲が回復。2023年の全体の転職率は7.5%で依然高水準が続く、20代正社員の転職経験は12%を超える。

若年層を中心に未経験人材の採用は拡大

政府による成長分野への人材移動を促進に向けた取り組みや企業におけるDX人材へのニーズと相まって、今後も20代を中心に未経験人材の流動化は加速。



※1 2024年3月12日公表 株式会社マイナビ「転職動向調査2024年版（2023年実績）」より
 ※2 https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2021/0805_9201.html

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは現在における見込み、予想及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

PORT INC.

社会的負債を、次世代の可能性に。